



日耳鼻医会 FAXニュース

平成29年6月5日発行 第251号

◎平成29年度定時都道府県代議員会 及び総会案内

日時:平成29年6月25日 13:00~17:00

会場:ベルサール八重洲 2階(東京駅近く)

第一部 総会 (13:00~14:30)

1. 開会 (物故者に黙祷)
2. 理事長挨拶
3. 報告 平成28年度庶務報告および事業報告
4. 議事

第1号議案 平成28年度収入・支出決算について

第2号議案 平成29年度事業計画(案)について

第3号議案 平成29年度会費について

第4号議案 平成29年度収入・支出予算(案)について

5. 第42回臨床家フォーラム及び創立50周年記念式典・祝賀会について

6. その他
7. 閉会

第二部 講演 (14:30~15:30)

「どうなる? 2017年の医療と社会保障

— 激動の2016年を踏まえて — 佐藤敏信先生

久留米大学特命教授

元厚生労働省健康局長/保険局医療課長

第三部 懇親会 (16:00~17:00)

今回は重要な総会となりますので関係者は万障お繰り合わせの上ご出席頂くようお願い致します。

◎平成29年度第1回全理事会開かれる

5月28日午後0時半より東京の事務所で開かれた。4月22日に開かれた第5回医会全般に関するWGの報告と5月18日に開かれた全国の医会長への「全国組織の医会設立へ向けての説明会」の報告などのあと、協議に入り、平成29年度の事業計画や解散の手続きなどについて協議がなされ、総会で十分な説明を行う事になった。

◎第42回臨床家フォーラム

・創立50周年記念式典・記念講演・祝賀会

日時:7月15日(土) 午後4時半~

会場:京王プラザホテル南館3階&5階

記念講演:「先天性難聴児および高齢者の難聴と人工内耳手術~聴覚の獲得の成果と課題~」
加我君孝先生(国立病院機構東京医療センター
名誉臨床研究センター長)

・フォーラム記念公開講演

日時:7月16日(日) 午前11時50分~午後1時

会場:日経ホール3階(千代田区大手町1-3-7日経ビル)

講演:「耳鼻咽喉科と地域医療体制」

釜范敏先生(日本医師会常任理事)

(講演会終了後懇親会、日経ホール6階)

◎東京都耳鼻咽喉科医会学術集会講習会

(第42回臨床家フォーラム記念公開講演の前に行います)

日時:7月16日(日)午前9時~午前11時30分

会場:日経ホール3階(千代田区大手町1-3-7日経ビル)

*「アレルギー診療に対する安全対策」(共通講習)

大久保公裕先生(日本医科大学教授)

*「慢性感音難聴診療の最前線」(領域講習)

小川 郁先生(慶應義塾大学教授)

近日中にフォーラムパンフレットがお手元に届きます。

同封されております「払込取扱票」で参加費をお振込みになり、事前登録をお願い致します。

■全国的な医会組織設立の今後のスケジュール

5月18日 広島TKPガーデンシティ広島で「全国的な医会組織の構築に向けての説明会」が全国の医会長を集めて行われ、森山学会理事長が組織の必要性和これまでの経緯を説明、また来年7月の設立総会迄のスケジュールを示した。

5月18日 医会長への説明会

9月17日 第1回全国耳鼻咽喉科医会連絡協議会開催

11月12日 第2回全国耳鼻咽喉科医会連絡協議会開催

平成30年

1月28日 第3回全国耳鼻咽喉科医会連絡協議会開催

5月30日 第119回日耳鼻総会/学会・医会長協議会にて

説明、承認

7月1日 第1回全国耳鼻咽喉科医会(仮称)設立総会開催

■皮膚に貼るワクチン開発 インフルエンザ予防注射より効果

皮膚に貼って使う新しいタイプのインフルエンザワクチンを北海道大などのチームが開発し、27日に長崎市で開かれた日本臨床ウイルス学会で発表した。

シートに長さ約0.5ミリの非常に細かな針が並んだ構造で、皮膚に貼り付けると針が溶けて、中のワクチンが体内に入る仕組み。チームはマウスを使い、マウスの背中にシートを5分間貼り付けた後にウイルスに感染させ、皮下注射でワクチンを投与した場合と効果を比較した。

この結果、季節性とH5N1型のどちらも貼るワクチンを使ったマウスの生存率が皮下注射をおおむね上回った。

ワクチンに使った細かな針は富士フィルムが開発。北大と共同で今回の研究に取り組んでいる。

■後発品との「差額」徴収、反対が多数

5月17日 厚生労働省の社会保障審議会医療保険部会において「先発医薬品価格のうち後発医薬品に係る保険給付額を超える部分の負担の在り方について」が議論された。具体的には2つの案が提案されている。

(1) 先発品と後発品の差額を患者負担とする考え方

先発医薬品の使用は「選定療養」と位置づけ、後発医薬品の薬価までが保険給付、それを超える分は患者負担とする考え方。(2) 患者負担ではなく先発品の薬価を後発品まで引き下げる考え方

一部の委員からは支持する声があがったものの、いずれも反対や慎重な検討を求める意見が大半を占めた。

Santen

抗アレルギー点眼剤

アレジオン®点眼液 0.05%

ALESION® Ophthalmic Solution 0.05%

製造販売元 参天製薬株式会社
大阪市北区大深4-20
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室

提携 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
東京都品川区大崎2-1-1

●「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2014年11月作成 AL14K000852WB_A

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228